

平成 29 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録

開催日	平成29年4月27日(木)	時間	13 時 45 分 ～14 時 15 分	場所	市立伊丹病院 くすのき講堂
出席者	<p>委員： 常岡委員長(伊丹市医師会会長)、末岡委員(宝塚市医師会会長)、藤末委員(川西市医師会会長)、木村委員(三田市医師会会長)、森田委員代理として飯田委員(伊丹市歯科医師会副会長)、千葉委員(伊丹市薬剤師会会長)、清水委員(兵庫県伊丹健康福祉事務所長)、辻委員(伊丹市消防局長)、坂本委員(伊丹市健康福祉部長)、酒井委員(宝塚市健康福祉部長)、中田委員(伊丹市病院事業管理者)、飯石委員(市立伊丹病院病院長)、関委員(市立伊丹病院副院長)、大迫委員(市立伊丹病院看護部長)、米倉委員(市立伊丹病院事務局長)</p> <p>委任状： 黒田委員(尼崎市医師会会長)、高見委員(三田市健康福祉部長)、根津委員(川西市健康福祉部長)、岡野委員(学識経験者)</p> <p>オブザーバー： 筒井(市立伊丹病院副院長)、三木(診療部長)、萩原(放射線診断科主任部長)、太田(歯科口腔外科主任部長)、勢旗(医療技術部放射線担当技師長)、五十嵐(薬剤科長)</p>				
議題内容	<p>■ 開会のごあいさつ</p> <p>本日はご多忙のところお集まりいただきありがとうございます。今日は平成 29 年度第 1 回地域医療支援委員会ということでいくつかの議事がございます。地域医療支援病院として行っている活動、地域医療の紹介、逆紹介の話、救急医療体制の話、地域の医療従事者に対する研修の話、これら地域医療の推進にとって非常に大切な項目ばかりでございます。</p> <p>ご報告いただきまして、伊丹市の地域医療が良くなるように議論を行いたいと思っております。限られた時間ではございますが皆様よろしく願いいたします。</p> <p>■ 委員紹介</p> <p>席次順に紹介 出席者過半数を超えているので本会は成立することを報告。</p> <p>本委員会は「公開等および傍聴についての要綱」第 2 条ならびに第 3 条による公開となっており開催案内したが傍聴希望者は無。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本委員会は議事録作成のため録音している。 ・会議録の記載内容回 <ol style="list-style-type: none"> 1.開催の日時および場所 2.出席した委員、臨時委員、専門医委員および関係人の氏名 3.議題およびその内容 4.議題の要旨 5.議決事項 6.その他委員長が必要と認める事項 <p>討議の中での発言内容、発言者の氏名は記載無し。</p> <p>第 18 条により 会議録は市立伊丹病院ホームページにて公開。</p> <p>■ 議事署名人の指名について(2 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常岡委員長より指名 飯田委員、辻委員に依頼したい。 両者共に了承。 <p>■ 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 紹介患者に対する医療提供について 				

資料 1-① 1-② 1-③ 1-④ 1-⑤に従って説明

資料 1-① 承認要件のイおよびウを満たしている。逆紹介率の減少は誤差の範囲内と考える。

資料 1-② マンモグラフィの減少は、市内の医療機関がマンモグラフィ検査を行うようになったため、件数が移行し減少したものと考える。

件数減少による、撮影や読影に対する負担の軽減になっているのか。

→マンモグラフィ検査は減少したが、全体的には昨年度と比して特に変化なし。

しかし、キャンパシティブ的には問題ない。

資料 1-③ 入院患者の 36.6%が紹介患者である。

資料 1-④ 地域医療連携室の利用割合は前年度比で 2%増加した。

2) 救急医療の提供について

資料 2 に従って説明

救急搬送数、入院患者数および入院化率は増加している。

救急車搬送数の増加に伴う、医師の負担増についてはどうか。

→ 特に問題はない。

3) 地域の医療従事者に対する研修について

資料 3 に従って説明

医師以外、コメディカルも講師となり、講習していただいているようであるが、例えば認定看護師は何名いるのか。

→ 感染管理、皮膚排泄ケア、糖尿病看護等 9 領域、全員で 13 名。地域医療の中でも活動させていただいており、彼女たち自身も勉強になっている。

4) 開放病床の運用実績について

資料 4 に従って説明

利用について、新規利用の登録医は無く、従来からご利用いただいている医療機関の登録医のみとなっている。主な診療科は外科と眼科である。

5) その他

・「市立伊丹病院地域医療連携登録医および開放病床運営に関わる要綱」の第 6 条(11)(12)を追記したい。理由としては、利用方法について具体的な項目がなかったため、安全面から明文化にしたものである。この委員会で審議いただきたい。

→ 追記について特に問題なく、異議なし。承認。

・「むこねっと(患者情報共有システム)」の運用状況についてはどうか。

→ 平成 26 年 10 月から運用開始しており、現在のところ特に問題なく順調に運用している。

平成 26 年度では 83 件、平成 27 年度では 191 件、平成 28 年度は 181 件で詳細はパターン A(紹介)142 件、パターン B(照会)13 件、パターン C(逆紹介)26 件である。新規の医療機関は少ないが定着してきている。

・市立伊丹病院は急性期病床がすべてと聞いているが、開放病床利用数の伸び悩み、地域包括ケア病床などについて何か対策を考えているのか。

→ 現時点では、特に考えていない。急性期病院として運営していこうと思っている。

・在宅支援病院ではないのか。

→ 在宅支援病院ではない。ただ、認定看護師を外に出したいとは思っているが、現時点では具体的なことはできていない。

■ 閉会のごあいさつ

4月1日より市立伊丹病院長として着任し、この委員会に初めて出席させていただきました。貴重なご意見をいただきありがとうございました。市立伊丹病院は総務省の新公立病院改革ガイドラインによって、今年から市立伊丹病院の改革プランというのを作成しましたので、32年度までこれに従って病院作りをしていくということになっておりますが、その中で病院の姿として、地域医療支援病院としての役割を果たし、地域完結型の医療を推進すると大きく掲げられておりますので、今後とも皆様のご支援の元で地域完結型医療を目指していきたいと思っております。

臨床研修医の件ですが、前病院長の時にマッチングした10名が、全員医師国家試験に見事合格し、1年生10名、2年生7名、合計17名、たくさんになってうれしい悲鳴と共に、教える側も一生懸命になっております。この6月からは、2年目の研修医が地域研修にいきますので、皆様よろしくご指導お願いいたします。

当院では新しい試みとして4月から呼吸器アレルギー診療センターを開設、放射線科も2015年からIMRTを始めておりますが、さらに進化させるため放射線診断科と治療科に分けました。新たに放射線診断科の主任部長もお招きしております。循環器内科も今後、力を入れていくということで4月から平日20時30分までホットラインを運用、6月から不整脈外来も開設します。今後とも地域の皆様のお役に立てるよう、頑張っておりますのでよろしくご指導お願いいたします。

■ 謝辞

本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。無事終了いたしました。先ほどごあいさつがりましたが、4月から病院長が、平塚から飯石に変わりました。また、整形外科の中井先生を副院長に抜擢しました。県が動いてくれて研修医が10名に増えました。一昨年は6名、昨年は7名でしたが今年は10名です。また、新に35名の医師が着任し合計132名となりました。先ほどマンモグラフィの話もありましたが、乳腺外科医もやっと1名着任しました。救急医療につきましては、日勤帯のみですが、循環器内科がホットラインを運用開始し、消防局にもご案内済みですが、整形外科も日勤帯のみ、外傷は積極的に受け入れる態勢を整えるなど、できるだけ皆様がお困りにならないようにしていきたいと考えております。国や県は地域医療構想についていろいろなことを言われております。今年度から、私が伊丹市医師会の理事となりましたので、皆様とお話する機会も増えるかと思っております。この阪神北圏域をどのようにしていくのか、皆様からご意見をお聞きしたいと思っております。今日は、当院のこの委員会にご出席いただいたことに感謝申しあげ、病院代表として御礼の言葉といたします。ありがとうございました。

別紙のとおり「平成 29 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として作成する。

作成者

平成 29 年 5 月 23 日

常岡 豊



別紙のとおり「平成 29 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として確認する。

議事録署名人

平成 29 年 5 月 30 日

辻 博夫



議事録署名人

平成 29 年 6 月 1 日

飯田 良治



平成 29 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会

日 時：平成 29 年 4 月 27 日（木） 午後 1 時 45 分から午後 2 時 15 分

場 所：市立伊丹病院 医局棟 くすのき講堂

プログラム

司 会 地域医療連携室室長 野口 隆

1. 開会のごあいさつ 委員長 常岡 豊
2. 地域医療支援委員会委員紹介
3. 委員長より議事録署名人の指名（2名）
4. 議事
 - 1) 紹介患者に対する医療提供について
 - 2) 救急医療の提供について
 - 3) 地域の医療従事者に対する研修について
 - 4) 開放病床の運用実績について
 - 5) その他
5. 閉会のごあいさつ 市立伊丹病院 病院長 飯石 浩康
6. 謝辞 伊丹市病院事業管理者 中田 精三

(敬称略)

		役職	氏名	出欠
1	医師会等関係	伊丹市医師会 会長 (地域医療支援委員会 委員長)	常岡 豊	出席
2		宝塚市医師会 会長	末岡 悟	出席
3		川西市医師会 会長	藤末 洋	出席
4		三田市医師会 会長	木村 忠史	出席
5		尼崎市医師会 会長	黒田 佳治	委任状
6		伊丹市歯科医師会 会長 (地域医療支援委員会 副委員長)	森田 健司	代理出席
7	薬剤師会	伊丹市薬剤師会 会長	千葉 一雅	出席
8	行政機関関係	兵庫県伊丹健康福祉事務所長	清水 光恵	出席
9		伊丹市消防局長	辻 博夫	出席
10		伊丹市健康福祉部長	坂本 孝二	出席
11		宝塚市健康福祉部長	酒井 勝宏	出席
12		川西市健康福祉部長	根津 倫哉	委任状
13		三田市健康福祉部長	高見 智也	委任状
14	学識経験者	岡野法律事務所弁護士	岡野 英雄	欠席
15	病院関係	伊丹市病院事業管理者	中田 精三	出席
16		病院長	飯石 浩康	出席
17		副院長・地域医療連携室主任部長	関 庚燁	出席
18		看護部長	大迫 しのぶ	出席
19		事務局長	米倉 康明	出席

代理 飯田 良治様
(伊丹市歯科医師会副会長)

出席者 15名 (代理出席1名)
委任状 3名 欠席 1名

席次表 (講堂3)

